

進路だより

入間市立豊岡中学校 第3学年

第3号 令和7年 7月11日発行

ー県公立の入試問題ってどんなもの？ー

先日総合の時間に、進路学習を行いました。夏休み中の計画を立てるために、自分が行きたい高校について、説明会の日程等を調べ、夏休み中のスケジュールを確認しました。小嶋先生から、説明会に行くことの大切さや、見に行くときのポイントについても具体的に話がありましたね。ぜひ保護者と進路について話し合い、説明会の予約をしましょう。また、確認することを事前にまとめ、夏休中に高校に足を運んでみてください。

さて、県公立入試の学力検査の平均点を調べてみたことはありますか。埼玉県公立入試では、国・社・数・理・英の5教科、各100点満点の学力検査が実施されます。しかし、実施される問題は2種類しかありません。5教科全県共通の学力検査を実施するか、入試問題の一部（数学と英語のみ）に応用的な内容を含む「学校選択問題」を実施するか、のどちらかです。学校選択問題の難易度は通常の学力検査より高く、年度ごとに各高校が自校の入試に学校選択問題を採用するか否かを決定します。学校選択問題を採用した学校で、卒業生が通う高校は、所沢・所沢北・川越・川越女子・川越南・浦和・大宮・和光国際などが採用しています。

さあ、今年度はどうなるでしょう…。先生が、今までの進路指導を通して学んだ「受験に必要なこと」は、**①まずは出題傾向を知ること、②そしてそれを信じすぎず、幅広く対応できるように準備すること**です。今、この時期だからこそ、問題傾向を分析するとともに、学力を上げる努力をしていきましょう！

<県公立入試 平均点>

教科	学力検査問題					学校選択問題	
	国語	社会	数学	理科	英語	数学	英語
7年度（受検者 38,449 人）	63.4	65.6	52.3	64.8	43.6	44.8	57.0
6年度（受検者 39,128 人）	58.1	65.7	51.7	51.6	53.4	50.2	54.8

★平均点から見てくると（よみうり進学メディア 2025 埼玉版7・8月合併号（4）ページより）

【国語】平均点が60点台に回復。平均点の高さは、点数が取りやすい教科であることを示しています。

長文への苦手意識をなくし、読解力を高めていきましょう！

【数学】配点の半分以上が基礎基本の知識や技能を試す「大問Ⅰ」に割り振られています。

前半の問題を確実に解いていけば、平均点に到達できるのは他教科にはない特徴です。

【英語】7年度は大きく平均点が低下しました。これ以上の低下は予想しづらいところですが、もっとも点数が伸びにくい教科となっているので、早めの対策が必要です。

【理科】地学・生物・化学・物理の各分野からバランスよく出題されますが、それぞれどんな単元が出題されるかが、平均点に影響していると考えられます。

【社会】正答率が低い歴史分野の「年代並べ替え問題」が姿を消すなど、点数を伸ばしやすい状況となっています。対策が立てやすい分、イージーミスを避けなければなりません。